

なり云々とあれとも是亦當れりこは思はれす

祭日 八月十五日

社格 村社(郷社)

所在 久代村 明星 (美濃郡吉田村大字久城)

小野天大神之多初阿豆委居命神社 (明細帳)

神社とあり

祭神 小野天大神之多初阿豆委居命

今按注進狀に頭注抄に啼澤女命罔象女とあるは信かたし
小野は知名抄に出たる地名なりさて當社を以前河内大明
神と稱すと云り神名帳考證に古事記天押帶日子命者小野
臣之祖也信友書入に神は押の誤之は轉例初は良の誤なる
へしさらば天押多良志云々と唱へて小野櫛代の姓に由あ
りて聞ゆと説ふ小野櫛代などに由ある事は實に説はれた
り神名はいかかあらんは實地に就てよく訂すへし

祭日 四月三十日より五月一日

社格 村社

所在 戸田村 小野 (美濃郡小野村大字戸田)

特選神名牒

隱岐國十六座

○今鳥根 縣管下

大四座

小十二座

○知夫郡

小六座

由良比女神社

大神大元名 名神大元名 和多須社

祭神

殿男神四座

女神五座

今按神名帳考證信友書入に隱州視聽合記を引て本社
の所在をいへるつきに按に當國神名帳にも從三位上由良姫
大明神從四位上和多酒明神と二つあれば此元名和多須神
とある六字は下なる海神社二座とある下にあるべきなり
貫之朝臣の土佐日記にわたつみのちぶりの神に手向する
云々の歌も此神をさせるなるべし以上百木の説信友云な
ほ袖中抄の説を引き又土佐日記によりて考ふべしと見え
たり熟く訂すべし連胤も履録に此帳分注に元名和多須神
とある六字は後人頭注によりての加筆なるべし此例あり
云々を説へり

隱岐國 知夫郡

神位 仁明天皇承和九年九月乙巳隱岐國智夫郡由良比賣命

神預官社

祭日 六月廿八日より廿九日迄

社格 郷社

所在 浦之郷村 鶴須 (知夫郡浦郷村大字浦郷)

大山神社

祭神 大山祇神

今按神名帳考證に今在美田郷此地之號大山腰此山上燒火
之神歎とあり視聽合記美田郷の條下に按神名帳知夫郡有
大山神社此山上燒火之神歎謂之脇則斯山可爲大山晉可知
突臨其髓根之義歎とありて燒火社に係れる書さまの如く
なれごこは別に燒火社と云がありて此大山神社の近傍な
りと云事なるべしなほ實地に就てよく訂さまほし燒火社
の事比奈麻治比賣神社の條に云を往見すべし國內神名帳
に從三位上大山明神とあり

祭日 二月六月九月十三日

社格 村社

所在 美田村 脇 (知夫郡黒木村大字美田)

海神社二座

祭神 不詳 男體六座

今按神名帳考證信友の書入に由良比女神社の分注元名和